

令和 7 年度
生活時間調査アンケート
結果報告書

令和 7 年 1 月
新潟工業短期大学
I R 室

I. 生活時間調査アンケートの概要

(1) 調査目的

新潟工業短期大学の授業や宿題の量の検討を行うため,本学の在校生(1・2年次生)を対象に,一日の生活時間全体の中で学習時間をどのように確保しているかを調査した.

① 調査対象及び調査方法

本学の在校生(1・2年次生)に対して,マークシート方式で調査を行った.

② アンケート回答者数

R7 1年生: 102名 2年生: 131名

R6 1年生: 138名 2年生: 49名

③ 調査時期

令和7年8月

④ 調査内容

一日の生活時間のうち,下記(1)~(10)までの項目に対して,該当する内容や時間に近いものを①~⑤から選択する.

No.1 予習のレベル

①: 「何もしない」

②: 「教科書を読む」

③: 「教科書を読む,問題を解く」

④: 「教科書を読む,問題を解く,不明個所を調査」

⑤: 「教科書を読む,問題を解く,不明個所を調査,問題を解く,質問をまとめ」

No.2 復習のレベル

①: 「レポート作成」

②: 「レポート作成,宿題をやる(分かる範囲で,又は人に聞く)」

③: 「レポート作成,宿題をやる(自力で全部)」

④: 「レポート作成,宿題をやる(自力で全部),ノートを整理する」

⑤: 「レポート作成,宿題をやる(自力で全部),ノートを整理する,質問をまとめ」

No.3 睡眠時間

①: 5h ②: 6h ③: 7h ④: 8h ⑤: 9h~

No.4 食事時間 (朝,昼,晩 三食分 調理時間も含む)
① : 30min ② : 1h ③ : 2h ④ : 3h ⑤ : 4h~

No.5 通学時間 (往復)
① : 30min ② : 1h ③ : 2h ④ : 3h ⑤ : 4h~

No.6 予習・復習の合計時間
① : 10min ② : 30min ③ : 1h ④ : 2h ⑤ : 3h~

No.7 クラブ活動または趣味の時間
① : 0 ② : 1h ③ : 2h ④ : 4h ⑤ : 5h~

No.8 アルバイトの時間
① : 0 ② : 1h ③ : 2h ④ : 4h ⑤ : 5h~

No.9 その他1 生活時間 (掃除,洗濯,買物,等)
① : 1h ② : 2h ③ : 3h ④ : 4h ⑤ : 5h~

No.10 その他2 上記以外の時間 (ゲーム,テレビ,等)
① : 2h ② : 4h ③ : 6h ④ : 8h ⑤ : 10h~

II. 令和7年度（R7）生活時間調査：単年度分析

本年度（令和7年度）の生活時間調査において、最も関連の高い指標である「予習・復習の合計時間」は、1年生では「1時間」、2年生では「2時間」が最も多く、昨年度と同様に「1～2時間」に回答が集中する結果となった。授業外学修時間としては十分とはいはず、学習時間の確保が引き続き大きな課題である。

予習については、1年生ではレベル2（教科書を読む）、2年生ではレベル3（教科書を読む、問題を解く）が最も多く、予習の質については学年差がみられた。復習では両学年ともレベル3（レポート作成・宿題（自力で全部））を中心であった。

アルバイト時間では、4時間以上に該当する学生が1・2年生ともに多く、特に2年生で長時間のアルバイト従事が目立った。

余暇時間については、ゲームや動画視聴などの「その他の時間」が1～2時間に集中しているものの、2年生では4時間以上の学生も一定数確認された。

図1：予習のレベル（問題1）

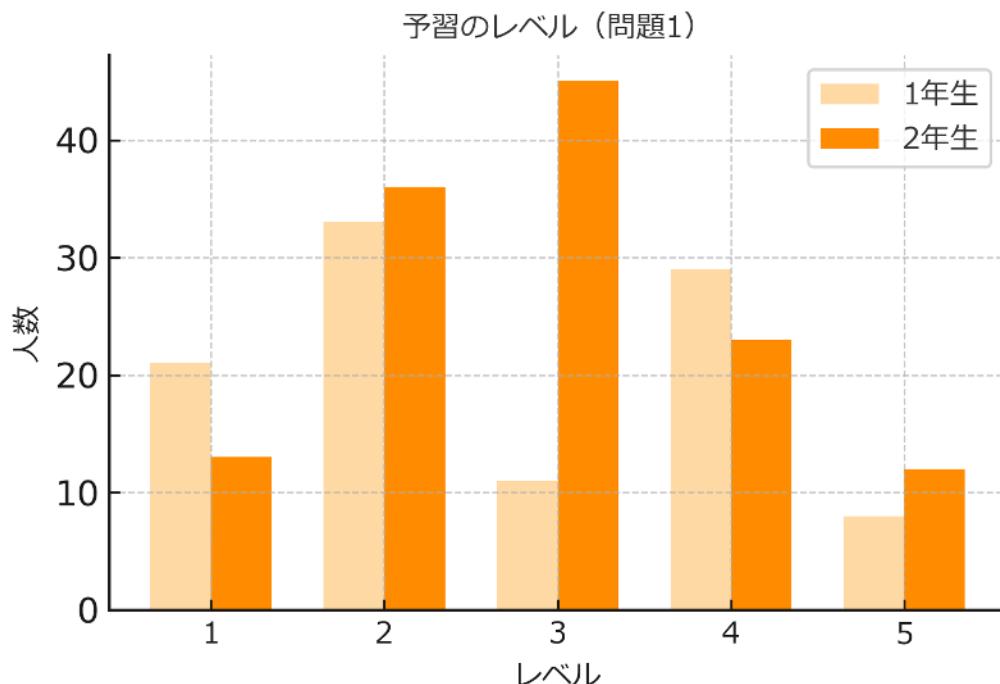


図 2 : 復習のレベル (問題 2)

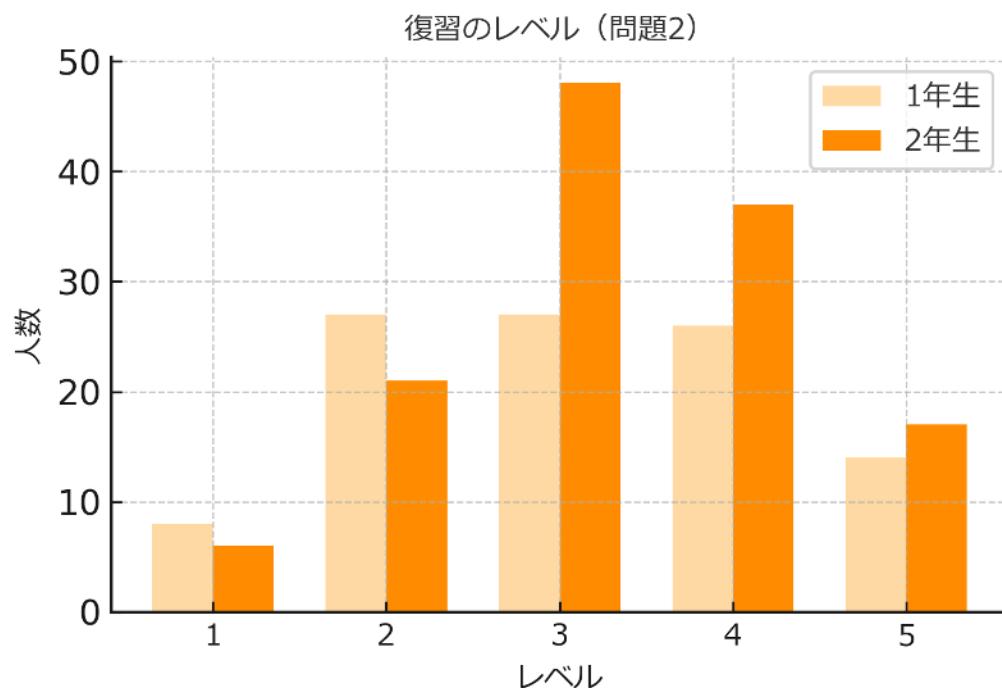


図 3 : 睡眠時間 (問題 3)

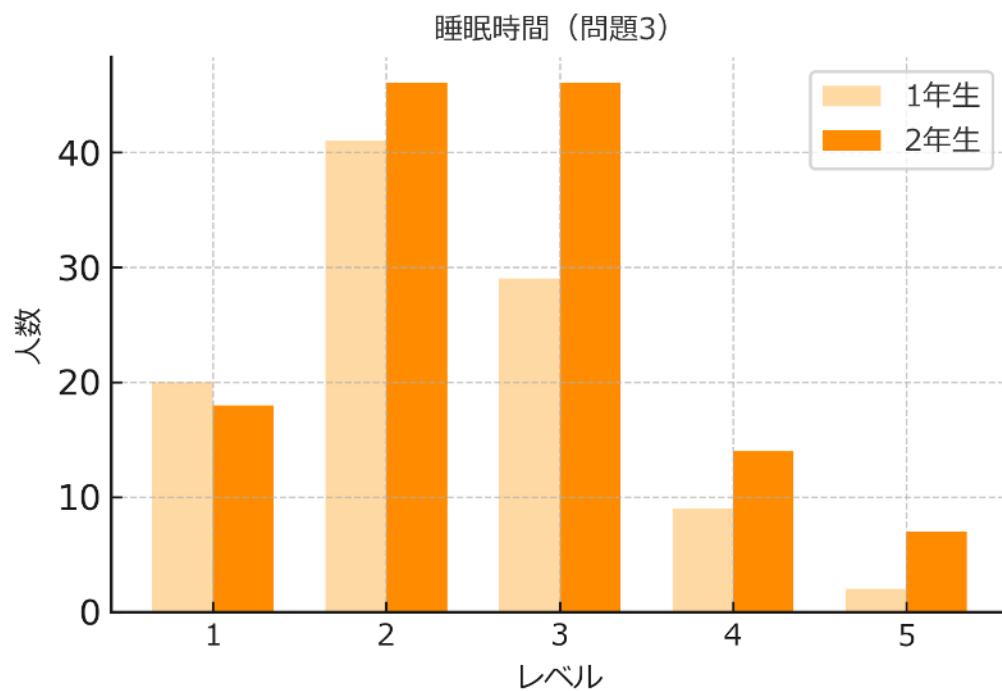


図 4：食事時間（問題 4）

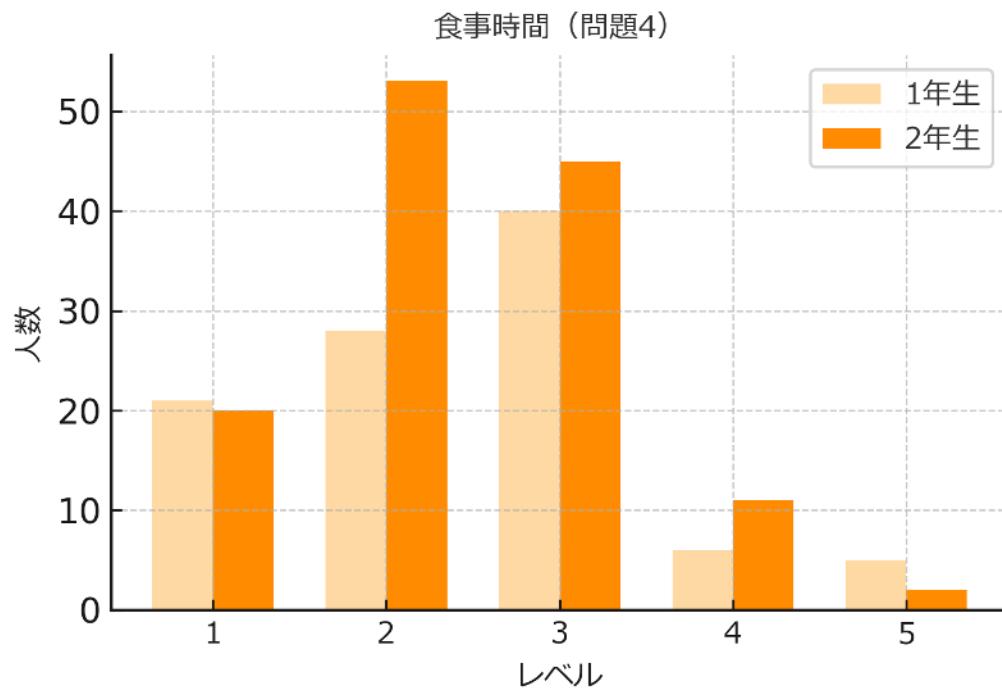


図 5：通学時間（問題 5）

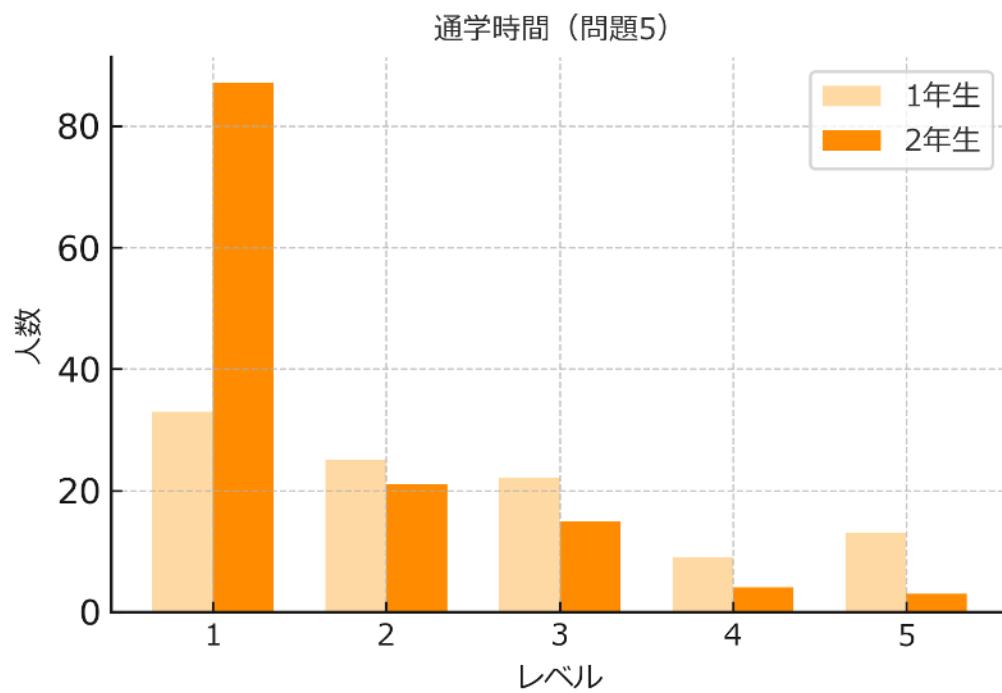


図 6：予習・復習の合計時間（問題 6）

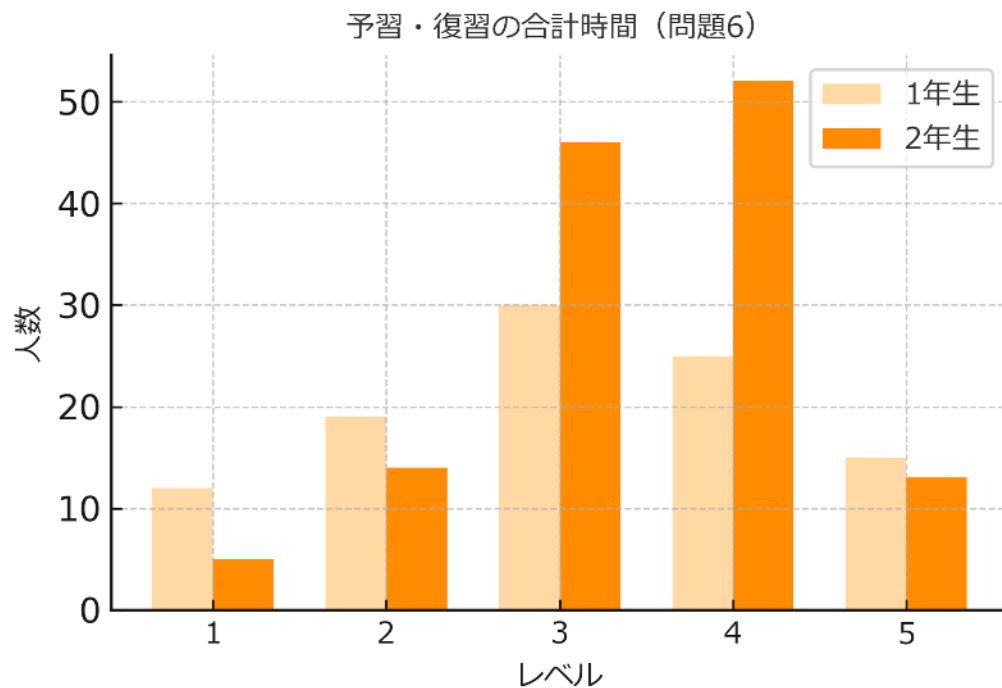


図 7：クラブ活動または趣味の時間（問題 7）

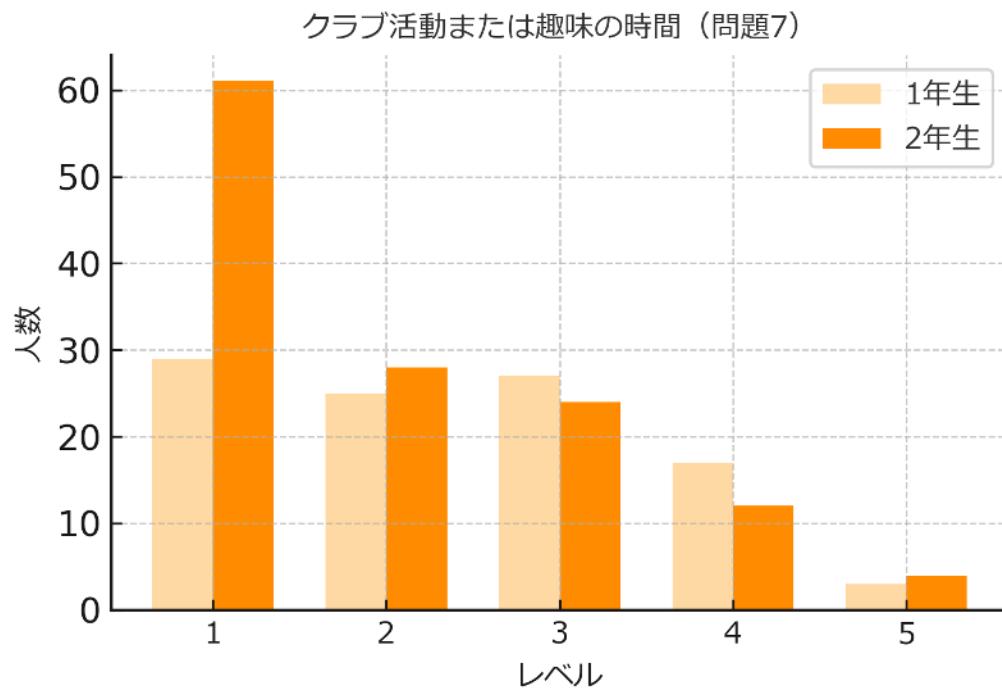


図 8：アルバイトの時間（問題 8）

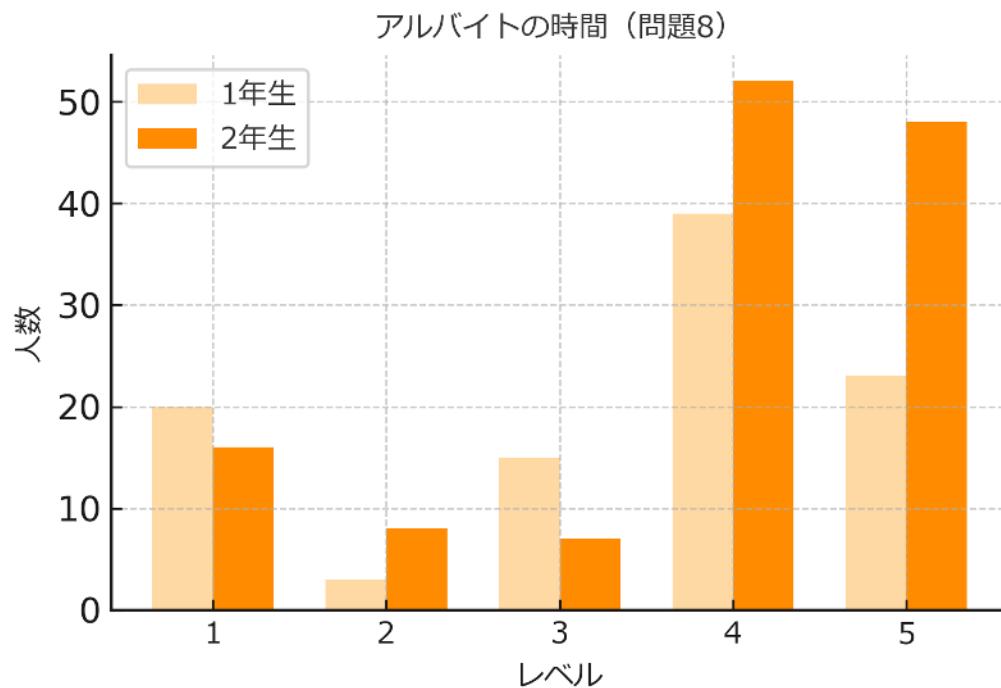


図 9：生活時間（問題 9）

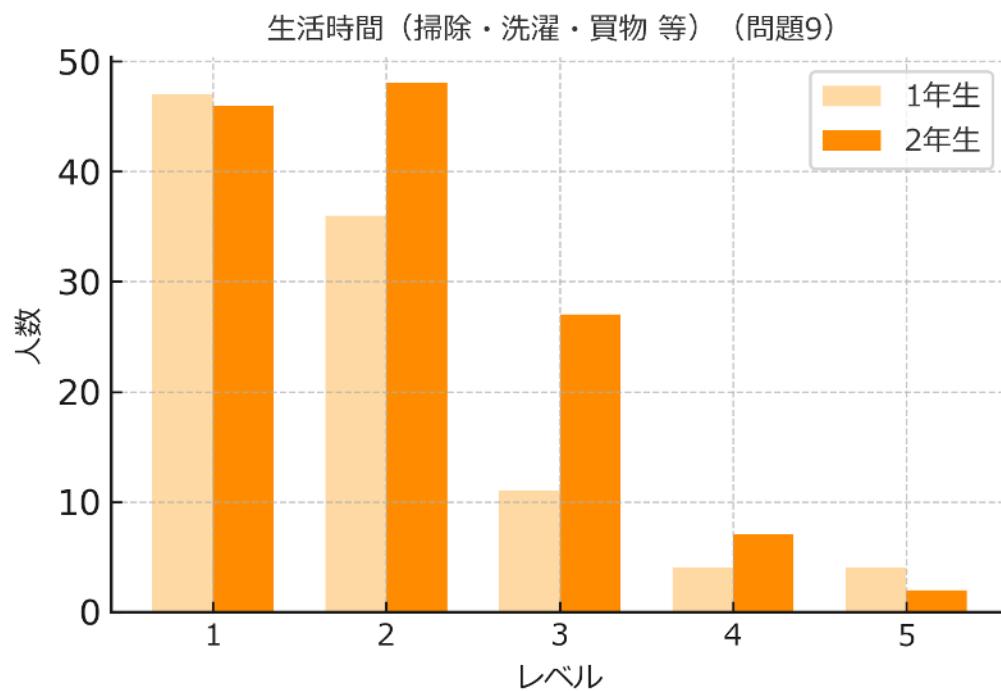
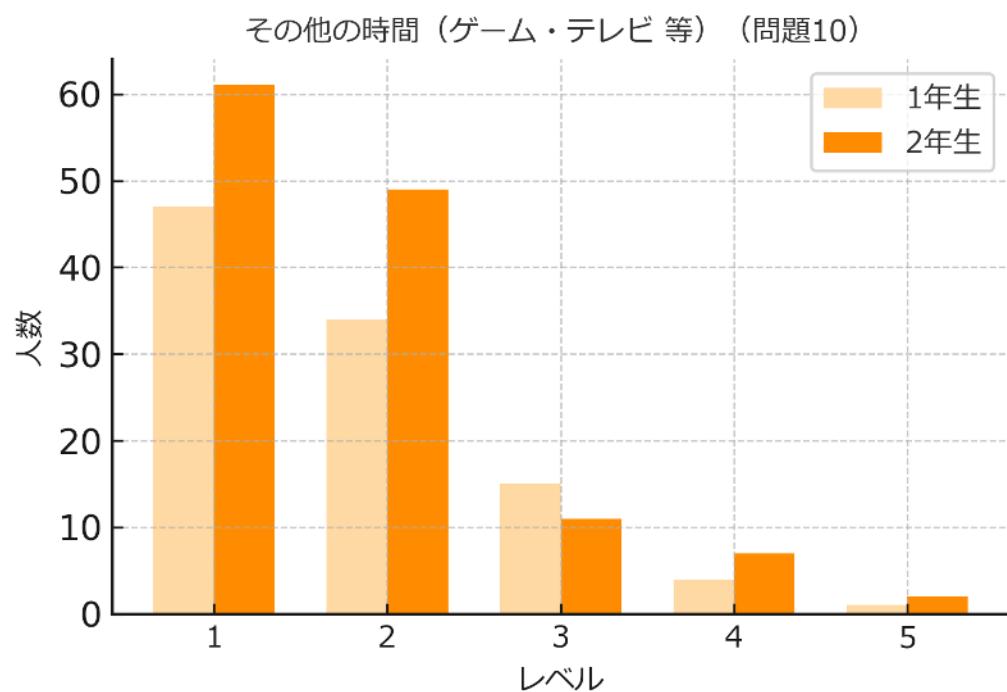


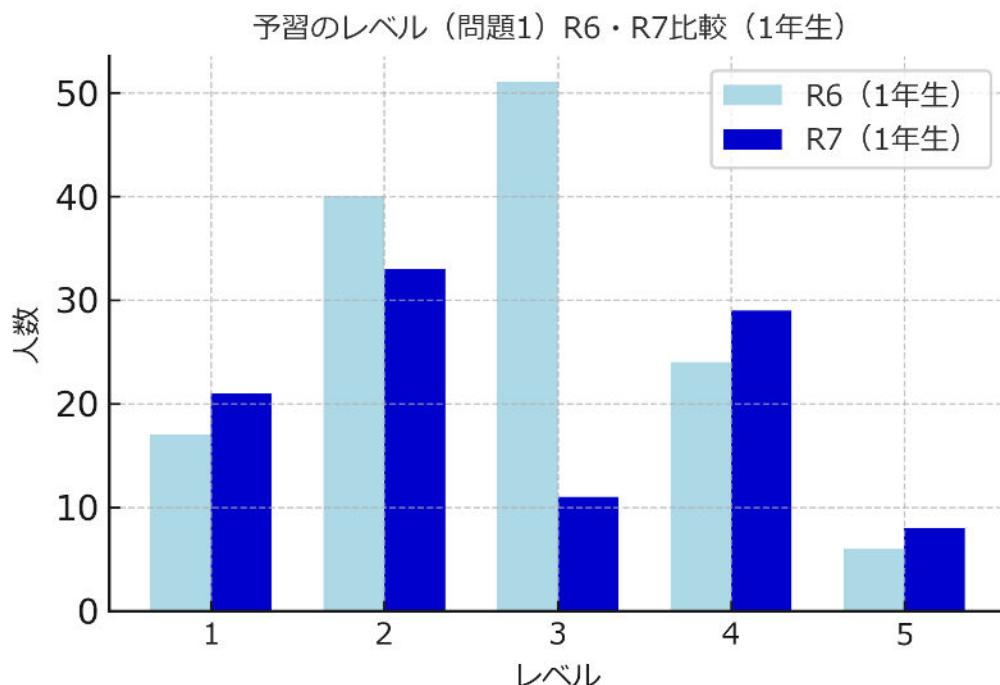
図 10：その他の時間（問題 10）



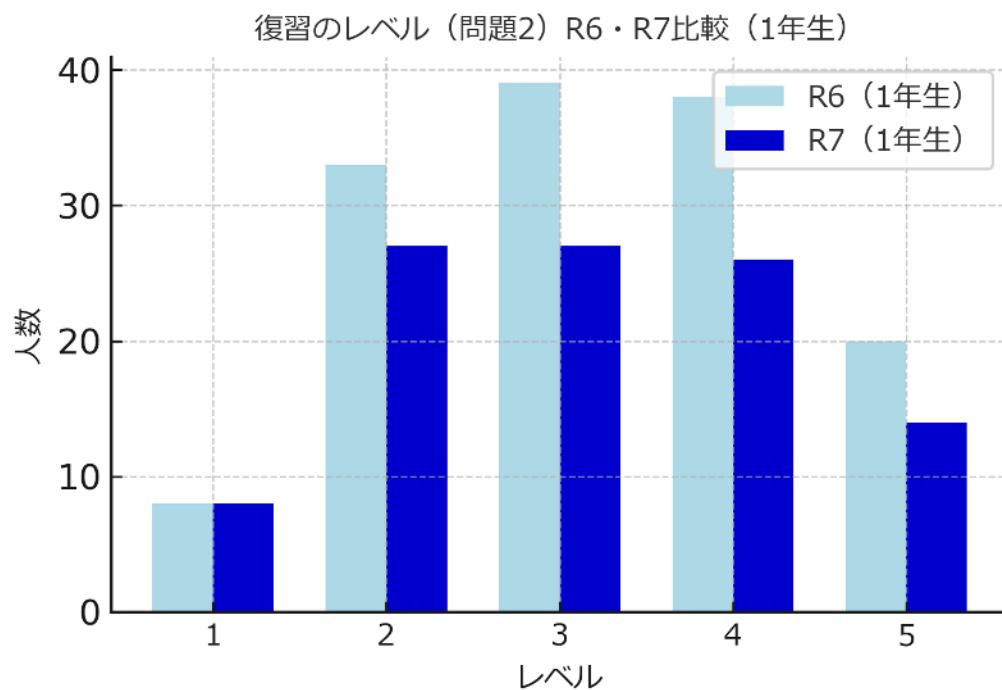
III. R6・R7 比較分析（1年生）

R7 年度入学者について教員から学習状況を危惧する声が上がった為、ここでは1年生における予習・復習時間、学習行動を中心に R6・R7 を比較したところ、予習レベル・学習時間・アルバイト時間において R7 が R6 を下回る結果となり、特に予習・復習の合計時間では R7 の学習時間減少が顕著であった。

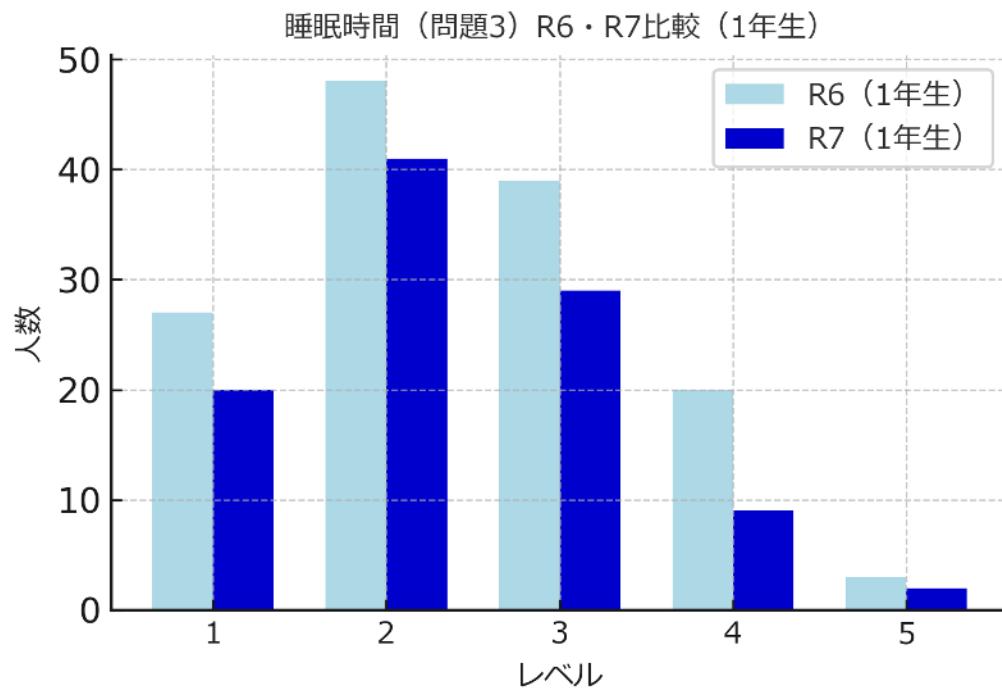
III-1：予習のレベル（問題1）



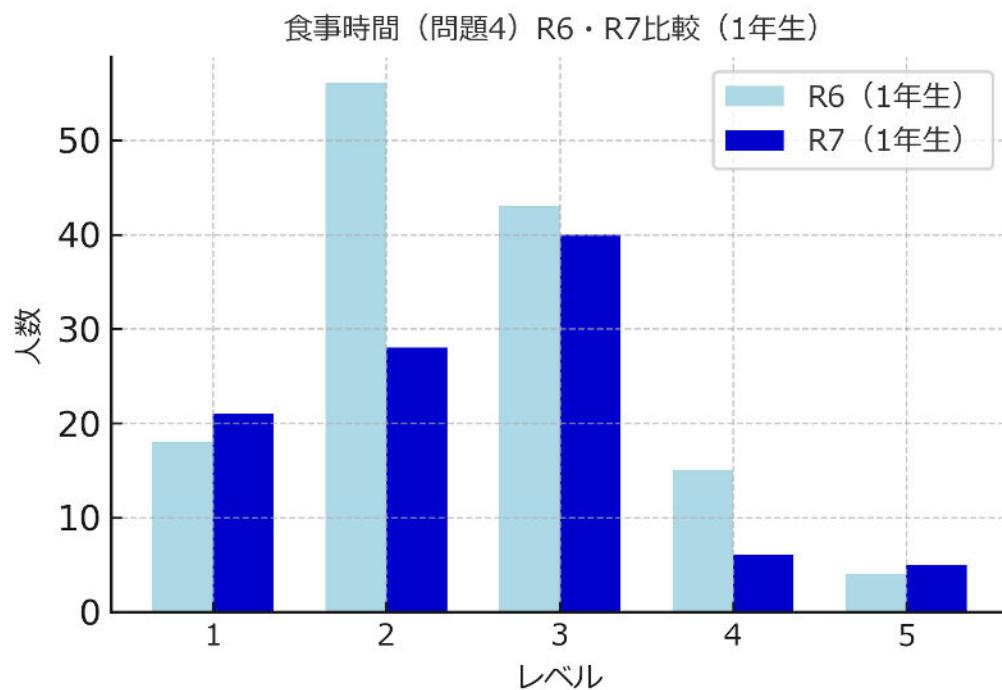
III-2：復習のレベル（問題 2）



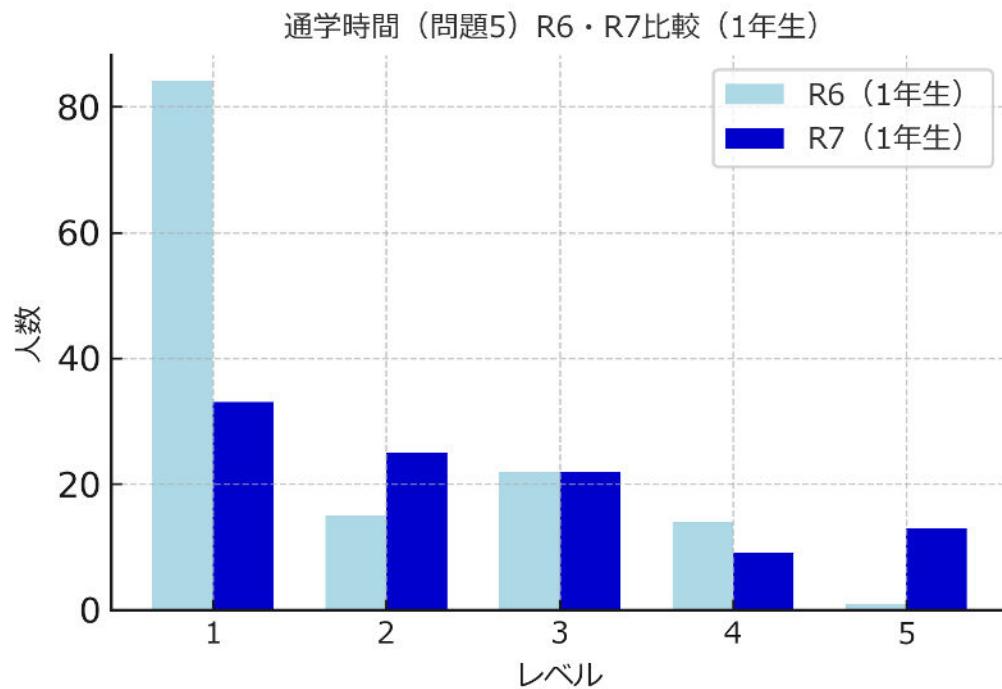
III-3：睡眠時間（問題 3）



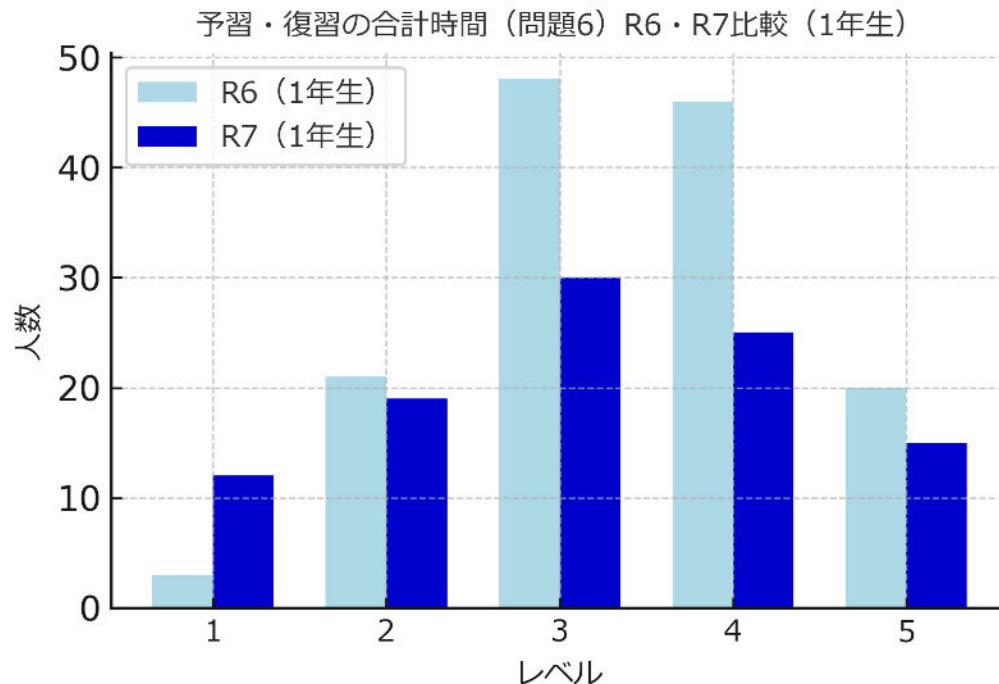
III-4 : 食事時間（問題4）



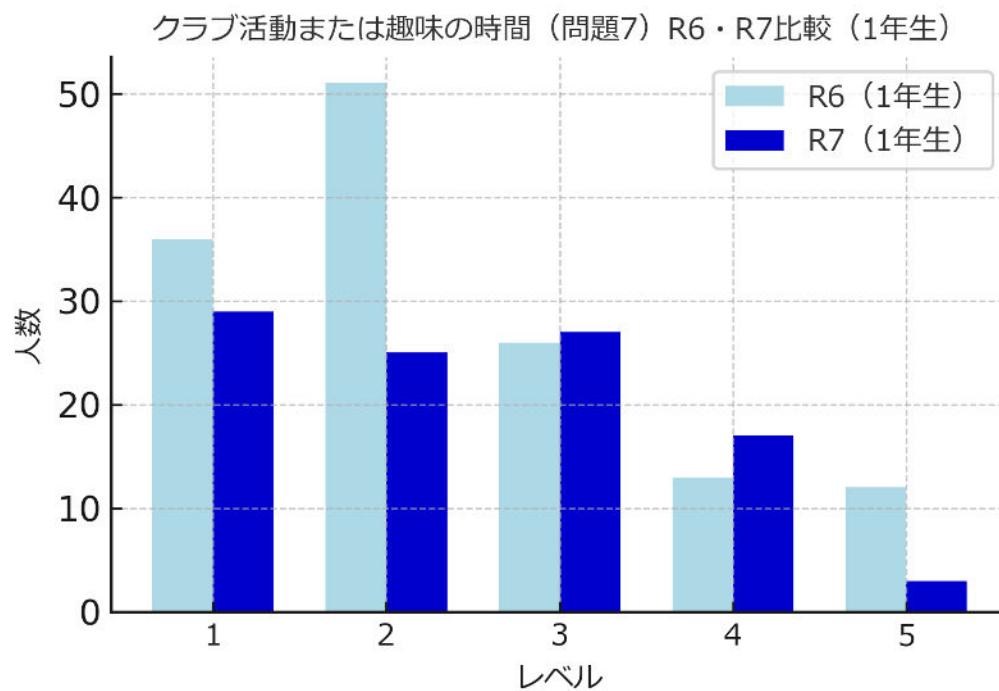
III-5 : 通学時間（問題5）



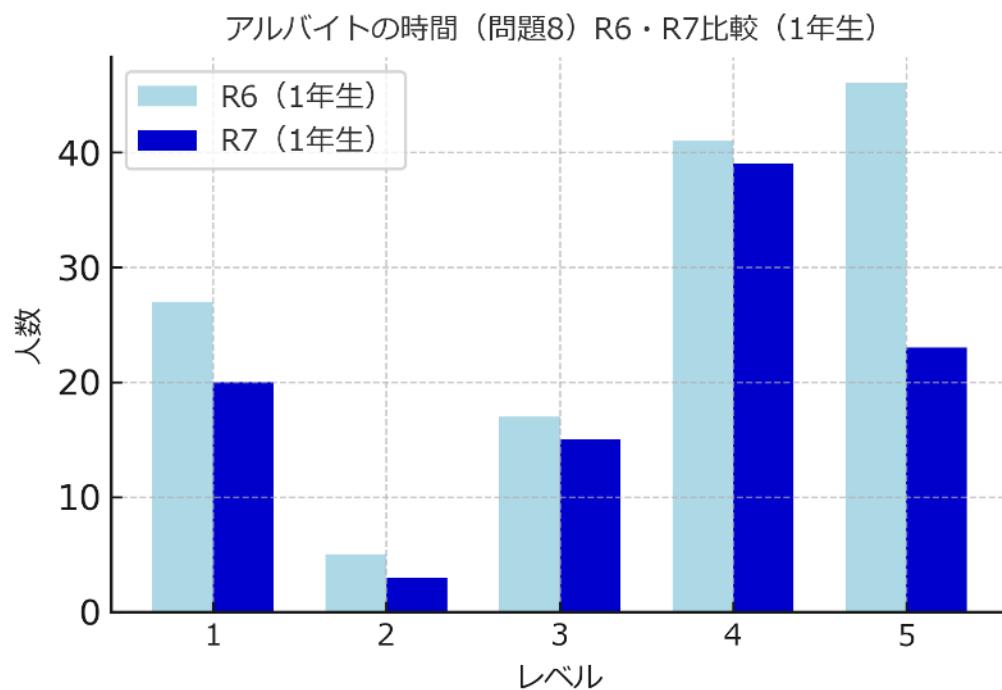
III-6：予習・復習の合計時間（問題6）



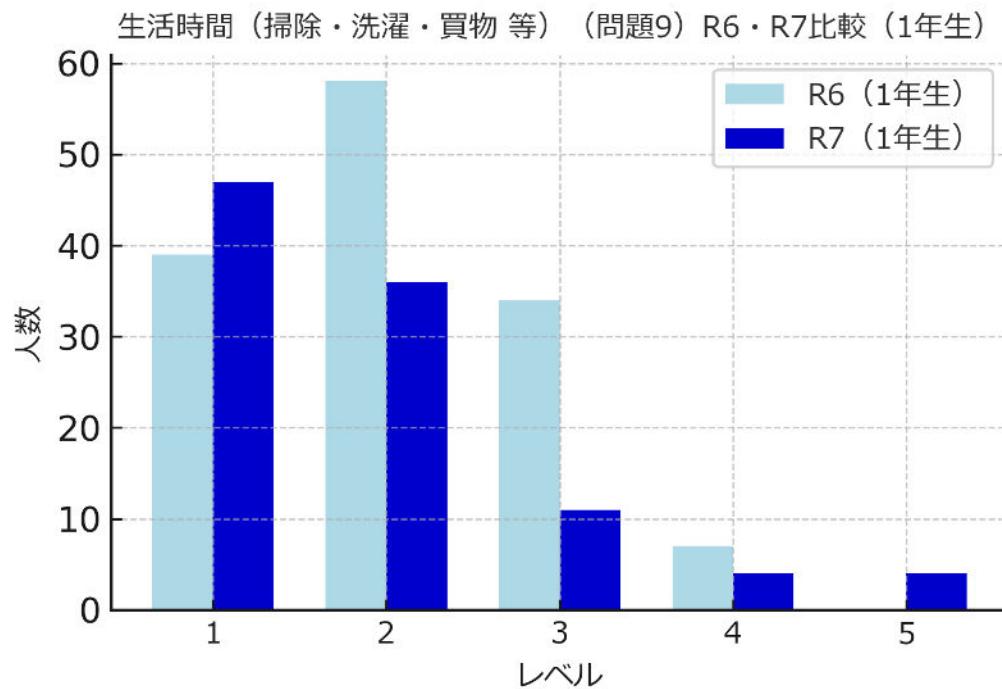
III-7：クラブ活動または趣味の時間（問題7）



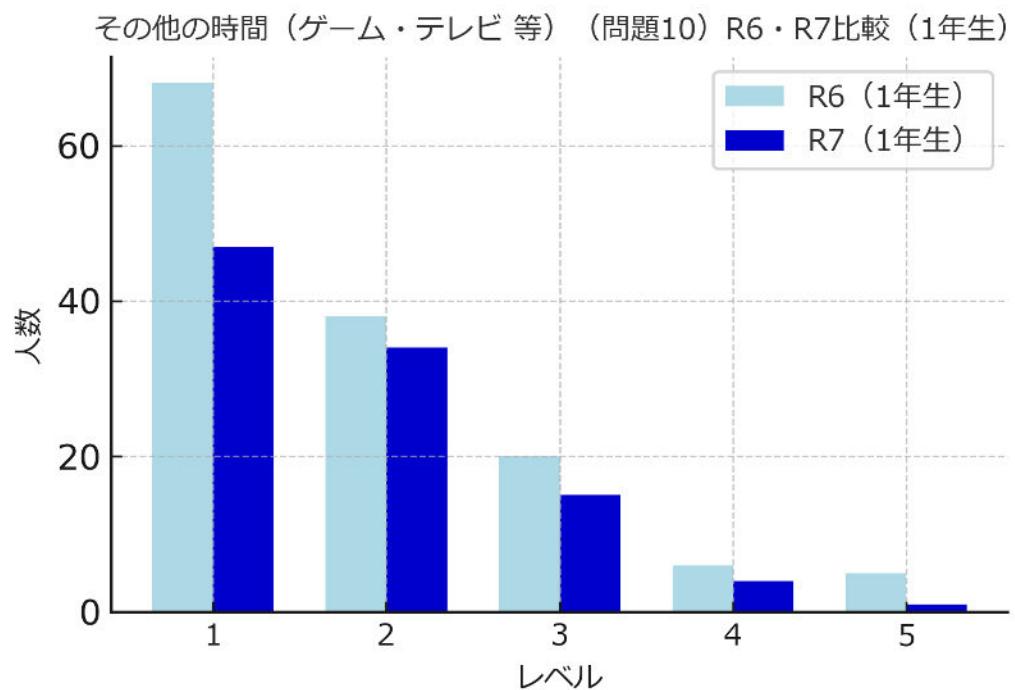
III-8 : アルバイトの時間（問題 8）



III-9 : 生活時間（問題 9）

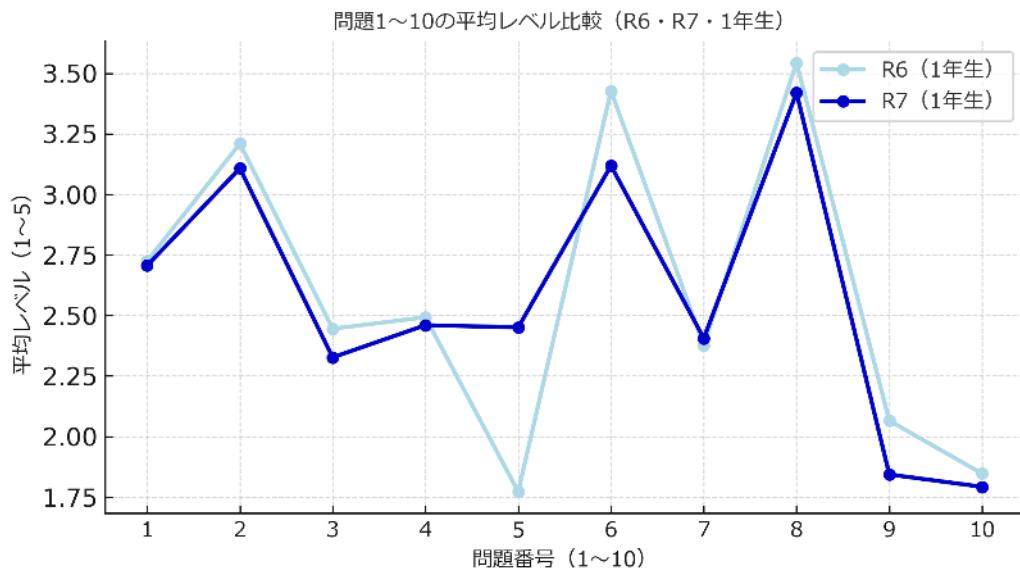


III-10：その他の時間（問題 10）



IV. 平均レベル比較 (R6・R7・1年生)

問題1～10の平均レベルを比較したところ、10項目中8項目でR7がR6を下回った。



総括

令和6年度（R6）と令和7年度（R7）の1年生を比較したところ、学習時間および学習行動にいくつかの重要な違いが認められた。まず、予習・復習に関する学習行動の質がR7で低下する傾向が見られた。予習ではR7でレベル2（教科書を読む）の割合が高まっており、レベル3～4に該当する学生が減少した。復習についてもノート整理や質問整理など、学習内容の理解を深める行動を行う学生がR6より少なかった。

次に、予習・復習の合計時間（問題6）の比較では、R7の1年生にも2時間以上学習する学生は存在するものの、割合としてはR6よりも減少している。その一方でR7は「1時間」に回答が集中する傾向が強まり、結果として学習時間の分布が1時間側に寄っていることが確認された。つまり、学習時間の“上位層”（2時間以上）が減り、中央値が低下した状態が今年度の特徴となっている。

また、アルバイト時間の増加がR7で顕著であり、4時間以上のアルバイトを行う学生が増加した。これは授業外学修時間の減少と関連する可能性が高く、学習とアルバイトの時間配分に課題があることが示唆される。

一方で、睡眠・食事・家事などの生活習慣はR6とR7で大きな変化が見られず、学力傾向の差は主として学習行動とアルバイト時間の変化に起因している可能性が高い。総じて、R7の1年生においては、予習・復習行動の質の低下、中～長時間の学習

層の減少、アルバイト時間の増加が同時に進行しており、学習行動全体が弱まっている傾向が認められた。

今後は、個別面談を含む学習時間確保の支援、アルバイトとの両立指導、予習・復習の質を高めるガイダンスの強化が必要である。